

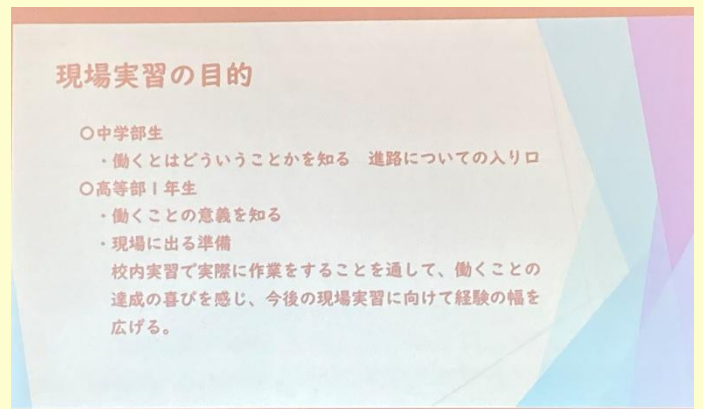
進路説明会を開催しました

4月28日、授業参観日にあわせて、全校の保護者を対象とした進路説明会を開催しました。本校では昨年度より、学部を超えて全校の保護者を対象とした形で実施しています。



当日は、ハローワーク木曾福島および木曾障がい者基幹・総合支援センター「ともに」の皆さまに来校いただき、進路や就労、卒業後の生活を支える地域資源についてご説明をいただきました。はじめに、ハローワーク木曾福島の古畑様から、「就労にかかわらず、何かわからないことがあればご相談ください」とのご挨拶がありました。

次に、本校進路指導主事より、進路学習に対する基本的な考え方について説明がありました。高等部卒業後の進路は、働く場を選ぶことだけでなく、「どのような生活を送りたいのか」を考えることが大切であり、余暇の過ごし方も含めた生活全体を見据えて学習を進めていく必要があることが示されました。また、進路学習は中学部や高等部から始まるものではなく、小学部からのすべての学びが、将来の生活に向けた力につながっていることについても話がありました。



あわせて、現場実習の目的について、中学部および高等部各学年における目標が示されました。実習先の決定にあたっては、学校職員が見学や相談に対応しながら、本人と保護者が十分に話し合って選択していくことの重要性が共有されました。その後、卒業後の生活を見据えた進路選択のさまざまな選択肢についても説明が行われました。

続いて、「ともに」の皆さまからは、センターの業務内容について紹介があり、最後に「職業準備性」をテーマとしたお話がありました。「何のために働くのか」という働く目的を考えることが、働く力を育てるうえで大切であることが伝えられました。

本校では、今後も関係機関や地域の皆さまと連携しながら、児童生徒一人ひとりの卒業後の生活を見据えた進路指導を進めてまいります。

